

令和４年度 第１回青少年指導関係運営協議会 会議録

日 時 令和４年６月２１日（火）
午後２時４０分から午後４時
場 所 木更津市役所朝日庁舎会議室Ｂ

出席委員 加藤緑委員、中務公明委員、和田潤子委員、薄葉良委員、
森竹慎子委員、荒木弓夫委員、水谷純子委員、鈴木義信委員、
齋藤和利委員、水島亨子委員、鳥飼優子委員、鈴木清委員

- １ 開会
- ２ まなび支援センター所長挨拶
- ３ 協議

- ①令和４年度まなび支援センター青少年指導関係活動の方針について
- ②情報交換
- ③その他

〔事務局から説明〕

本協議会の委員の皆様におかれましては、今年度、委嘱替えとなりました。

略儀ながら、委嘱状を机上に置かせていただきました。新しく委員になられた方は６名いらっしゃいます。

任期は木更津市まなび支援センターの設置及び管理に関する条例第５条第３項によりまして、令和６年５月３１日までとなっております。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

会に先立ちまして、ここでひとつ皆様にご承知願いたいことがあります。

本協議会は、木更津市審議会等の会議の公開に関する条例により公表されておりますが、本日の傍聴人はありません。また、会議録は木更津市のホームページ上で公開されることとなります。会議中は録音機により会議を録音いたしますのでご承知ください。

それではただ今から、令和４年度第１回木更津市青少年指導関係運営協議会を開催いたします。会議開催にあたり委員１４名のうち、１２名の出席により会議が成立いたしますことをご報告いたします。

この会の趣旨は青少年健全育成に係る取り組みを行っております本センターの運営等についてご意見を頂くと共に、関係機関等の取り組みをご紹介頂き、連携して青少年健全育成を図るための会議でございます。

それでは、今年度第１回目ということで、新しい方もいらっしゃいますので、お手元に配付してあります名簿順に簡単な自己紹介をお願いいたします。

自己紹介

それでは、協議に入ります前に、まなび支援センター所長の内海よりご挨拶を申し上げます。

内海所長あいさつ

〈事務局〉

ありがとうございました。

それでは、これより協議に入りたいと思いますが、事務局より若干ご説明申し上げたいことがございます。

まず、会長・副会長の選出についてですが、お手元の協議会資料、木更津市まなび支援センター管理規則ですが「第3条第1項」に「会長及び副会長を各1人置く」とございます。同じく「第2項」をご覧ください。「会長及び副会長は委員の互選により定める」とあります。それでは、齋藤会長に座長をお任せいたします。よろしくお願いいたします。

〈齋藤会長〉

会長の齋藤です。協力のほど、よろしくお願いいたします。それでは、協議にはいります。まず、会長の選出ですが、どなたか立候補なさる方いらっしゃいますか。推薦される方。

〈事務局 所長〉

いらっしゃらないようなので私から提案いたします。

齋藤会長の再任ということでいかがでしょうか。

(拍手)

〈齋藤会長〉

では、私ということで今ありますが、いかがですか。

ありがとうございます。

それでは、会長は引き続き 私 齋藤 ということでご異議ございませんか。会長は引き続き私が務めさせていただくことになりました。それでは、引き続き議事をすすめていきたいと思っています。

次に副会長の選出ですが、どなたか立候補なさる方いらっしゃいますか。推薦される方。立候補、推薦がないようなので、事務局から提案がありましたらお願いします。

〈事務局 所長〉

それでは私から提案したいと思います。副会長には教育委員会の教育委員というお立場でもありますので、加藤委員でいかがでしょうか。

(拍手)

〈齋藤会長〉

ありがとうございます。

それでは、副会長には加藤委員ということでご異議ございませんか。

異議なしと認められますので、副会長は加藤委員ということでよろしくお願いいたします。

それでは、新会長、新副会長が決まりましたので簡単にご挨拶いただきたいと思います。

先ずは私から

齋藤新会長あいさつ

加藤新副会長あいさつ

〈齋藤会長〉

それでは、協議にはいります。

協議事項の①令和4年度木更津市まなび支援センター青少年指導関係活動の方針について、事務局説明願います。

〈内海所長〉

令和4年度まなび支援センター青少年指導関係活動の方針について説明

〈齋藤会長〉

事務局からの説明について、ご質問・ご意見等ございましたらお願いします。

ご質疑等ないようですので、報告事項に入ります。各委員からのご発言をお願いいたします。

〈中務委員〉

子どもたちの様子は学校のホームページを毎日更新しているところもあります。様々な活動がコロナ禍でも少しずつ行われているのが分かります。まだまだ収束しておりませんが、修学旅行、校外学習等は実施できました。同じように感染対策を充分にし、行事等は進めていきたいと思います。

学校の方はICTの充実により、リモート授業も実施でき、不登校の生徒も授業に参加できています。とはいえ、不登校の児童生徒が微増しているのは、気になります。対応は難しいところです。

この7月より自転車保険の加入が義務化されました。事故の多い箇所などは、パトロール等を行っています。火葬場の建設工事が進み、交通量が増え、事故などが心配されています。

〈和田委員〉

県立高校は小中学校と違い、ICTが進んでおらず、一人一台端末になっていません。生徒のスマートフォンを使用することもあります。通信環境が整っていません。県の方針では、今後一人一台を進めていくと伺ってはいます。

部活動などはコロナ禍前に戻りつつあります。全日制では、文化祭も一般公開はありませんが、保護者と事前申し込みの中学3年生は参加でき、生徒も喜んでいました。

定時制は、以前のような、やんちゃな生徒ではなく、小中学校で登校の難しかった生徒が殆どで、とても落ち着いています。現在は一般公開しておりませんが、再開になりましたら、是非、見学にいらして下さい。

〈薄葉委員〉

学校行事は戻ってきていますが、文化祭は一般公開しませんでした。今後、マスクの着用の扱いに留意していきます。

〈森竹委員〉

子育て支援課では、就学前の巡回相談が増えています。小学校に入る前に出来ることを子ども家庭相談や関係機関と連携していきたいと思います。

〈荒木委員〉

コロナの関係等で学校との会議等はない状態です。今の民生委員の役割は様々な手当の申請のお手伝いをしています。今後は子供の貧困やヤングケアラーについて対応していき

たいと思っています。

〈水谷委員〉

まだ赴任したばかりですので、地域の情報を共有させて頂きたいと思っています。

〈鈴木義信委員〉

木更津警察署少年警察ボランティアは、生活、防犯指導を防犯指導員として、月2回袖ヶ浦駅、木更津駅周辺を午後7時から街頭指導を行っていますが、子供たちはおとなしく、徘徊する生徒はいません。問題行為もありません。むしろ、子供たちの方から挨拶してくれる子もいました。

また、主な事業としてソフトバレーボールを各中学校区を輪番で年一回一校ずつ行い、青少年とのコミュニケーションを高めるため中学生を対象に行うのですが、2年間、コロナの影響で中止し、今年も清川中で開催を検討しています。

〈齋藤会長〉

各中学校区ごとに活動し、2ヶ月に一度、報告をしています。地区にもよりますが、少しずつですが活動を再開しております。コロナ禍で子どもたちもストレスが溜まっているのか、発散の仕方が難しいかもしれません。

また、貧困家庭が増えていった場合、貧困や格差が子供の環境の悪化に繋がるかもしれません。そういった事に関しても、話し合いができればと思っています。

〈水島委員〉

青少年相談員は、111名の相談員がいます。木更津市のキャッチコピーが、共に喜び共に語り共に行動で常に念頭に置っていますが、活動は制限されています。私たちに出来ることはないかと情報共有しながら、行事を進めようと考えています。

色々な行事が中止となる中、何かやれると、子供たちがとても喜んでくれます。

〈鳥飼委員〉

子どもたちからの話の中で、ネグレクトや家庭内暴力、ずっと休んでいる子のことなどが心配されています。コロナ禍もあり、問題を抱えた子が相談をするタイミングがなかったようです。

公共交通機関で痴漢行為に合う等の話も聞きました。学生同士の痴漢行為、スマートフォンで盗撮される女子学生がいましたが、冗談であったとしても、もし、ネットにあげられると取り消す事ができません。そこは注意しなければいけません。

〈鈴木清委員〉

こども会は会員が減っています。市内で400名程度です。なんとかキャンプをしています。色々な行事の継承をしていかないといけませんので、様々な方法を考えています。

〈加藤副会長〉

幼児教育を教えておりますが、現在のコロナ対策は各幼稚園保育園に任せられています。この対策が子供たちの心身の発達にどのような影響があるのか。通常3歳児は衝動的

に行動しますが、今は前を向いておとなしく食事をしており、守る事ができています。

今後どのような影響があるのか心配なところです。スキンシップを取れるよう保護者と話していけると良いと思います。子ども同士の関わりも理解して頂けると良いと思います。

大学生はオンラインが半分です。ICTの活用ができない子はどんどん遅れてしまっていますが、幼児教育はやはり対面にしたいと思います。

入学時からコロナ禍で学校に来ていなかった生徒で、短大や専門学校の子は今年そのまま社会に出ています。相談する友達を作りづらかった状況で、将来に関する不安など、本当は心のケアが必要だと思います。

〈齋藤会長〉

今は、人と人との関りが希薄になっていて、どうしても距離を取ってしまっています。昔は殴り合いがあったり、スポーツなどでスキンシップを取って社会に出て行っていました。今は人との接し方が薄くなっていて、それで社会活動ができるのか心配です。子ども達から目を離さず、世に出て活躍できるよう見守りたいところです。

パトロールをしていますが、子どもがいません。稀にいても、公園で花火ぐらいです。SNSで自分の中で完結してしまい、スキンシップがなく、人間関係も身近な人が少なくなり、遠くの人との繋がりが増えています。相手を騙して、自撮りの写真を送らせるなどのトラブルが絶えません。

タブレットなどはとても便利で、いつでも必要な情報が入って来ますが、裏を返せば、必要ない悪い情報も入って来ます。使い方の学習がなかなか浸透していないと思います。

〈加藤副会長〉

SNS、特にInstagramは私生活を世界中に発信している事になります。中学生の使用率はいかがですか？

〈中務委員〉

携帯電話を持っていれば、ほぼ100%だと思います。自分でアップしている子は少ないと思いますが。リテラシーが難しいです。

〈和田委員〉

高校生も100%だと思いますが、全世界発信とは思っていないと思います。自分の周りにしか発信していないと思っているようです。反対に、自衛している子もいますし、ネット情報を信じていない子もいますが、リテラシーの面では危ういです。

〈薄葉委員〉

悪事はSNSを介して発覚することが多々あります。外部講師を呼んだりして、許可なくアップしてはいけないと指導していますが、なかなか伝わらないのが現状です。停学になる様な事を仲間内に送信し、広がってしまっています。

〈加藤副会長〉

大学生で実習時の写真はアップしてはいけないと指導されたのに、SNSにあげてしま

い、実習が中止になり卒業と同時に取れる資格が取得できなくなる事態も聞きました。

個人情報の取り扱いが厳しくなっているのを分かっていない、数年後に大問題になる事態も予想されます。

〈水島委員〉

先程、盗撮の話もありましたが、イジメもSNSを使っておきているようです。誰かの写真を勝手にアップして、仲間内だけのつもりだったのが、通報されて、最悪、退学という事態になってしまうと、一瞬で加害者も被害者も人生を狂わす事になってしまいます。

このような事件は多すぎてニュースにはなりません、保護者も子供から聞かない限り、中々情報が入ってきません。とても恐ろしい事だと、もっと子供たちにも説明しなくてははいけません。

〈齋藤会長〉

ありがとうございました。他にご意見等はありませんでしょうか？共有しておきたいことなど、どうでしょうか。よろしいでしょうか。

時間の制限もございますので、事務局へお返しして、私の方は終わりにします。

〈事務局〉

ありがとうございました。

それでは、次回以降の会議についてご説明申し上げます。

会議資料にも記載してありますが、次回第2回の運営協議会は10月18日（火曜日）に開催の予定です。第3回は令和5年2月14日（火曜日）を予定しています。会場は木更津市市役所朝日庁舎内を予定しています。

委員の皆様方におかれましては、今後とも青少年健全育成のために、それぞれの立場でご尽力いただきますとともに、当センターの運営に、ご指導ご鞭撻いただきますようお願い申し上げます。ご協力ありがとうございました。